

春夏秋冬

集計手法が統一されていないことが背景にあるが、大きな問題は国が避

く把握することなしに、避難者への支援を縮小することは許されない。

が求められる。

東日本大震災から10年を経ても復興は道半ばだ。東京電力福島第一原子力発電所は、廃炉への道のりが全く見通せない。コロナ禍も重なり、復興の困難に直面する今、被災者や被災地への支援の継続・強化が必要だ。

被災者への住宅無償提供や自主避難者向けの住宅支援を2019年3月末でほぼ打ち切った。実態を正しく把握することなしに、避難者への支援を縮小することは許されない。

が求められる。

東日本大震災から10年 復興支援の抜本的強化を

一方、菅政権は原発の推進に前のめりの姿勢をみせる。原発推進を目的とする原発立地特措法を10年間延長することを閣議決定。「脱炭素社会」の実現と称し、原発や石炭火力発電を「ベースロード(基幹)電源」とする安倍政権のエネルギー政策を引き継ぐ。

座長には東京医科歯科大学の須田英明名誉教授が就任し、日本歯科医師会の柳川忠廣副会長、日本歯科衛生士会・日本歯科技工士会会長らが構成員に名を連ねた。

地域差・感染症対応など議論

その上で、歯科医療機関の役割分担・機能分化、地域偏在、病院歯科の必要数などの検討を強調した。また、歯科的な応急処置が必要な新型コロナウイルス患者や感染疑い患者を受け入れる医療機関を設定している都道府県が19カ所にとどまっていることを指摘。新興感染症の発生時の歯科医療提供体制についても検討が必要とした。(つづ)

少子高齢化に伴う疾病構造の変化や歯科医療ニーズの多様化に対応した医療体制を構築するため、厚労省は第一回歯科医療提供体制等に関する検討会を2月19日に開いた。

解説し、今後の検討の方向性を報告した。歯科医療提供体制については、人口10万人対の歯科診療所数が最多の東京約80施設に対し、最少は福井の約38施設となり、地域偏在を指摘。歯科を標榜する病院は全体の2割しかないという、地域差も大きい現状にあると紹介した。

19・20年度 第23回 理事会報告 2021年2月13日

- 【この間の取り組み】
・3次補正に盛り込まれた感染防止等補助金の紙申請用紙を、509人に送付。
・協会の要請で、医療従事者のワクチン優先接種に申込みのなかった歯科医療機関に、府が追加調査を実施。
・「75歳以上の窓口負担2割化反対署名」1万筆と、「クイズはがき」に返信のあった約4600通に寄せられた2300以上のコメントを、18日の議員要請に活用。
【重点課題】
・大阪市の都市開発の権限と財源を奪う「広域行政一元化」条例に反対。
・マイナンバーを利用した資格確認やオンライン診療の問題などを会員へ知らせる。
・会員の要望などを調査するための「会員意見調査」の実施。

おおさか医科・歯科九条の会 伊藤詩織氏を追ったドキュメンタリーを鑑賞

おおさか医科・歯科九条の会は11日、2015年に性暴力被害を受けたことを実名公表したジャーナリスト・伊藤詩織氏を追ったドキュメンタリー「Japan's Secret Shame (日本の秘められた恥)」(英国のBBCが2018年放送)を鑑賞する学習会を開き、20人が参加した。江原理事(同歯科世話人)は閉会挨拶で「性暴力被害への日本の法律や被害者を守る環境整備が非常に遅れていることに対し憤りを感じる。憲法を守り活かす活動とともに、問題提起していく必要がある」と訴えた。

医院経営

転ばぬ先の法律相談

新規の患者さんで「ネットに載っていたあの治療法をやってくれ!」と一方的に指示される方への対応は?(30代男性)

してはいけません。歯科医師には、日々進化する治療法や医療機器・材料の中で、高度な専門性に基づく裁量権があります。患者に選ぶ(選ばない)権利があるので、十分な問診や検査で診断し、患者さんの前提知識や理解度に合わせ、病状や予後を説明し、治療法の選択肢を示し、特定の治療法に誘導しないよう、わかりやすく具体的にメリット・デメリット等の必要な情報を提供して、共同して治療方針を決めていきます。その際にカルテや同意書に、患者に対する説明内容や患者の話した内容を記載して合意に至る過程を証拠として残しておくことが大切です。

第14回 治療法について患者が一方的に指示 どこまで尊重すべき?

理由をよく聞いて、適切な選択肢の提示を

一方的に治療法を指示する患者さんに対しては、なぜその治療法が良いと思ったのか聞き出し、前提条件の違い等を指摘し、当該疾患に適用できない治療法であることや、デメリットやリスクが大きいことを明確に説明して、より適合するメリットの多い別の治療法を選択肢に挙げて選んでもらうことが良いと思います。(弁護士 宮本亜紀)



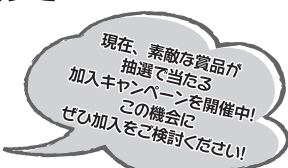
イラスト・辻井タカヒロ

2021年8月1日より、「第2グループ保険」は、「家族のサポート グループ保険」に名称変更いたします。

ご加入中の先生方へ
今回の変更は「名称」のみとなり、保障内容等に変更はございません。
4月以降、「保険更新書類」をお送りしますのでご確認ください。
ご不明な点がございましたら、お気軽に申し上げます。

グループ保険ってどんな保険?
最高6,000万円までの大型保障!
・掛け捨て型の死亡保険 (1年更新)
・団体割引の効いたお手頃な保険料 (配当金あり)
・加入時が医師の診査は不要です (健康告知型)

こんな先生にオススメです!
・結婚や出産などでご家族が増えられた先生
・新規開業で大きな借り入れをされた先生
・積立の生命保険に加入しているが、一定期間だけ死亡保障を上乗せされたい先生



グループ保険に関するお問い合わせや資料請求は、大阪府保険医協同組合 (担当: 川島) 06-6568-2230 まで